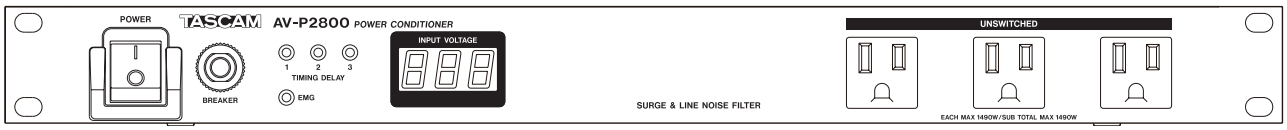
TASCAM

D01183001A

AV-P2800

Power Conditioner

取扱説明書



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ **警告**	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm以上）離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上の隙間をあける** 隙間をあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年１回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

⚠ **注意**	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入は、漏電や感電の原因となることがあります。
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のコードを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。
 注意	5年に一度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

目次

第1章　はじめに.....5
本機の概要.....5
本製品の構成.....5
本書の表記.....5
商標に関して.....5
設置上の注意.....5
電源について.....6
結露について.....6
製品のお手入れ.....6
ユーザー登録について.....6
アフターサービス.....6

第2章　各部の名称と働き.....7
フロントパネル.....7
リアパネル.....8

第3章　ご使用方法.....9
接続する.....9
AC電源（コンセント）への接続.....9
電源の極性について.....9
連動コンセントのタイミングについて.....9
コントロール端子について.....10

第4章　動作と接続例.....11
接続例.....11
タイミングチャート.....13
動作1のタイミングチャート.....13
動作2のタイミングチャート.....14

第5章　仕様.....15
一般.....15
寸法図.....15

このたびは、TASCAM Power Conditioner AV-P2800をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）からダウンロードすることができます。

本機の概要

- 電源部にサージノイズフィルター、ラインノイズフィルターを内蔵し、外部ノイズをカットしたクリーンな電源を供給
- フロントパネルにUNSWITCHED電源コンセント（3Pタイプ x3）
- リアパネルにSWITCHED電源コンセント（2Pタイプ x12）
- 遅延連動機能を使って、電源を遅らせて供給する事が可能です。アンプなどを他の機器と同時にオン／オフした場合にスピーカーからのノイズ発生を防止します
- 本機の電源を外部のスイッチでオン／オフすることが可能
- 本機を10台まで接続し、各機に接続した機器の電源を連動してオン／オフすることが可能
- 非常放送の伝達を妨げないようにするために、非常放送時に連動コンセントからの電源を切ることが可能
- 15Aの復帰用スイッチ付きサーキットブレーカー
- ノイズ低減のための電源極性チェック機能
- 7セグメント3桁の入力電圧表示
- ラックマウント可能な1Uサイズ

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- 本体　x1
- ラックマウント取り付け用ビスキット　x1
- 3P-2P変換アダプター　x1
- 保証書　x1
- 取扱説明書（本書）　x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**POWER**スイッチ」のように太字で表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

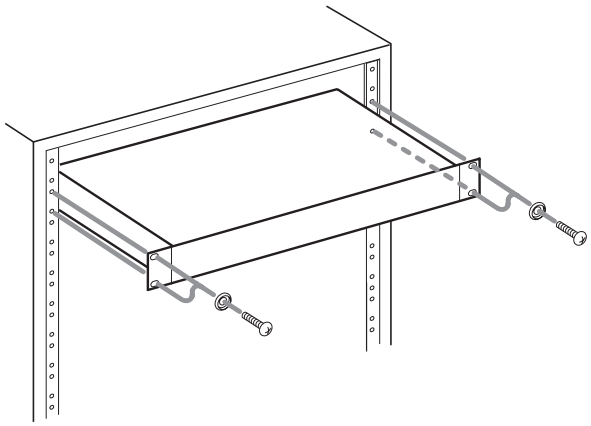
設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。

  振動の多い場所
  窓際などの直射日光が当たる場所
  暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  極端に温度が低い場所
  湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  ほこりの多い場所

- 本機に接続できる機器は、消費電力の合計が1490Wまでです。許容範囲を超える機器を接続しないでください。故障や火災などのおそれがあり大変危険です。
- 電気ストーブや電熱器など、大電力を消費する機器を接続しないでください。
- 本機の電源プラグは、必ずAC100V（50-60Hz）の壁面コンセントに直接接続してください。延長ケーブルなどを使わないでください。
- 電源コードは無理に曲げたり、束ねたりしないでください。発熱することがあります。
- 本機に強い衝撃を加えないでください。
- 本機は、水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。

● 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウント取り付け用ビスキットを使って、下図のように取り付けてください。
なお、ラック内部では、本機の上に1U以上（5cm以上）のスペースを開けてください。



電源について

● AC100V（50-60Hz）以外の電源には、接続しないでください。
● 電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷めたり色落ちさせる原因となります。

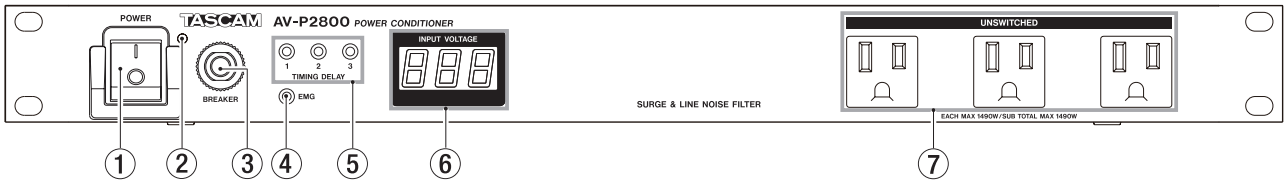
ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイト（**http://tascam.jp/**）にて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

アフターサービス

● この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシート等ご購入店・ご購入日が確認出来るものを一緒に保管してください。
● 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（裏表紙に記載）が修理いたします。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
● 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
● 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
  - 型名、型番（AV-P2800）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
● 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

フロントパネル



① POWERボタン

電源をオン／オフします。

注意

電源を入れる前には、接続機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

② POWERインジケーター

本体リアパネルの電源プラグをコンセントに挿し込むと赤色に点灯し、電源スイッチをオンにすると緑色に点灯します。

③ BREAKER（サーキットブレーカー）

本機に過電流が流れたときに作動し、ボタン部分が飛び出します。作動したときは過電流の原因を取り除き、ボタンを押してリセットしてください。

④ EMERGENCYインジケーター

非常放送用（EMG）信号を受信した時、インジケーターが赤色に点灯します。

非常放送用（EMG）信号が解除されると、インジケーターは消灯します。

⑤ TIMING DELAYインジケーター

POWERスイッチをオンすると、**1**→**2**→**3**の順にインジケーターが点灯します。

リアパネルのSWITCHED電源コンセント（**TIMING 1**→**2**→**3**）に電源が供給されたことを表します。（ → 9ページ「連動コンセントのタイミングについて」）

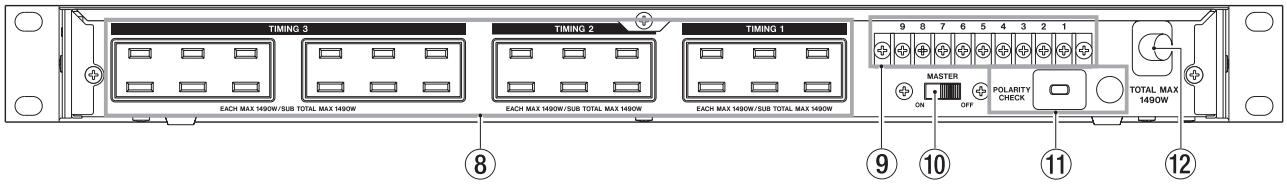
⑥ INPUT VOLTAGE表示（入力電圧表示）

AC入力電圧値を表示します。供給される電圧の異常を常時確認することができます。

⑦ UNSWITCHED電源コンセント

POWERスイッチのオン／オフに関係なく、常に供給されます。タイマー内蔵機器は、このコンセントに接続してください。

リアパネル



⑧ SWITCHED電源コンセント

POWERスイッチオン後、**TIMING 1→2→3**の順に電源が供給されます。オフにすると**TIMING 3→2→1**の順に電源が切れます。

非常放送用（EMG）信号を受信した時は**TIMING 3→2→1**の順に電源が切れ、非常放送用（EMG）信号が解除されると**TIMING 1→2→3**の順に電源が入ります。（ → 9ページ「連動コンセントのタイミングについて」）

⑨ コントロール端子

外部とのコントロール信号の送受信に使います。

出荷時は、**5**番と**6**番端子にショート金具を取り付けています。通常は、ショート金具を取り外さないでご使用ください。

外した場合は、**SWITCHED**電源コンセントに電源が供給されません。

⑩ MASTERスイッチ

本機を単体、または親機として使用するときに、オンにします。子機として使用するときはオフにしますが、その場合は親機の電源を入れないと電源が入りません。

⑪ POLARITY CHECK端子

電源プラグに3P-2P変換アダプターを使用してAC電源（コンセント）に挿入したとき、アースに正しく接続されているか、確認できます。

電源プラグをAC電源（コンセント）に接続後、**POLARITY CHECK**端子に触れたとき、正しくアースが接続されてない（逆側に挿入されている）場合は、**POLARITY CHECK**ネオン管が点灯します。

⑫ 電源プラグ

AC100V（50-60Hz）の壁面コンセントに直接接続してください。

本機のプラグは、アース対応になっています。

接続する

AC電源（コンセント）への接続

接続する際には、全ての機器の電源スイッチをオフにしてください。

1. 本機の電源プラグを壁面コンセントに接続します。
2. リアパネルにあるPOLARITY CHECK端子にのみ触れ、その隣にあるPOLARITY CHECKネオン管が点灯するか確認します。
3. POLARITY CHECKネオン管が点灯する場合は、本機の電源プラグの端子を逆にして壁面コンセントに接続し直します。
4. 再度、リアパネルにあるPOLARITY CHECK端子に触れ、その隣にあるPOLARITY CHECKネオン管が点灯しないことを確認します。
5. ミキサー、マルチトラックレコーダーなどの機器を本機の電源コンセントに接続します。
6. タイマー内蔵機器は、フロントパネルのUNSWITCHED電源コンセントに接続します。

注意

POLARITY CHECK時には、本体のシャーシ部には触れないようにしてください。正しい極性を検出できない場合があります。

メモ

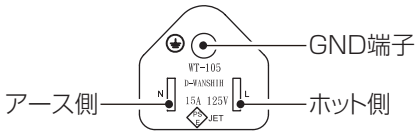
- 本機の電源コンセントが供給できる最大消費電力は1490Wです。接続する装置の消費電力の合計が1490Wを超えないようにしてください。
  火災の原因となります。
- 電気ストーブや電熱器などの電力消費量が大きい機器は接続しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。

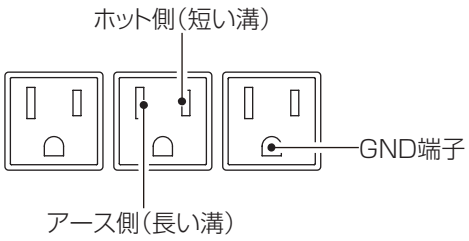
ヒント

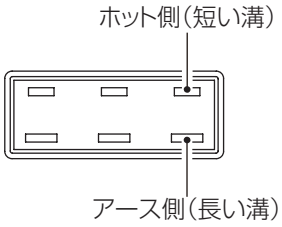
本機の接続において、SWITCHED TIMING 3のコンセントに接続すると、電源オン／オフ時のクリックが目立たなくなります。

電源の極性について

本機の電源プラグは3Pタイプで、電源の入口から出口まで極性が管理されています。
電源コンセントは、溝の長い方がアース側です。
極性を有する機器を接続する場合は、極性を合わせてください。

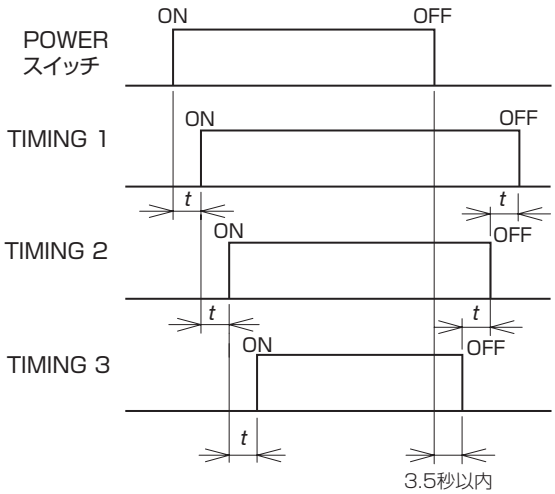




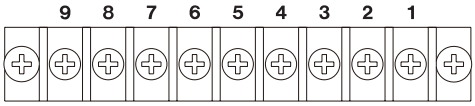


連動コンセントのタイミングについて

SWITCHED電源コンセントは、下図のタイミングで電源を出力します。
（図中t = 2.5±1.5秒）



コントロール端子について



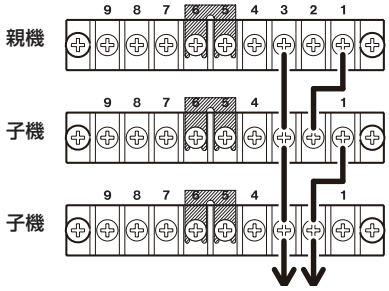
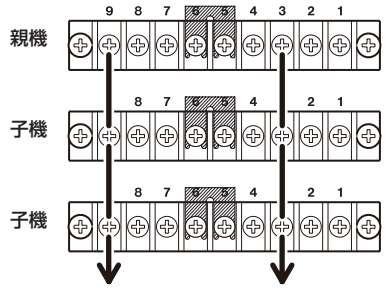
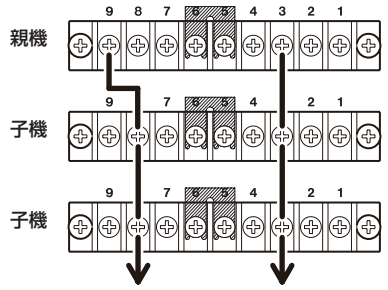
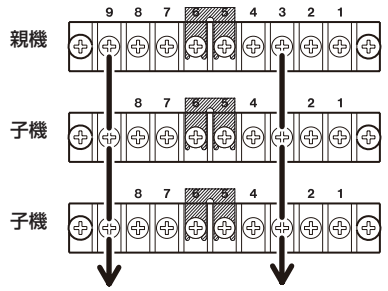
端子番号	用途	内容
1	出力	TIMING 3と同時に出力します。（アクティブハイ）
2	入力	子機として使うときに親機の1番端子からの信号を入力します。入力されるとタイミング動作を始めます。（アクティブハイ）
3	コモン	1、2番端子を使用するときのコモン端子です。内部回路のGNDに接続されています。
4	非常放送信号入力1	非常放送設備との接続に使います。 非常放送の信号が入るとSWITCHED電源コンセントの電源が切れます。
5	非常放送信号入力2	非常放送設備との接続に使います。 オープンにするとSWITCHED電源コンセントの電源が切れます。 通常は、ショート金具を取り付けてショートしておいてください。
6		
7	外部スイッチ	外部スイッチで本機の電源をオン／オフするときに使います。5番端子とショートする と本機の電源が入ります。
8	増設用外部スイッチ1	親機との接続にて、親機の電源が入の時、本機の電源を単独でオン／オフできます。 親機が切の時は、本機も切となります。 親機との遅延はありません。
9	増設用外部スイッチ2	親機や他の子機との接続にて、ここに接続した機器の中のいずれの機器からのスイッチでも、全機の電源のオン／オフを行うことができます。 親機との遅延はありません。

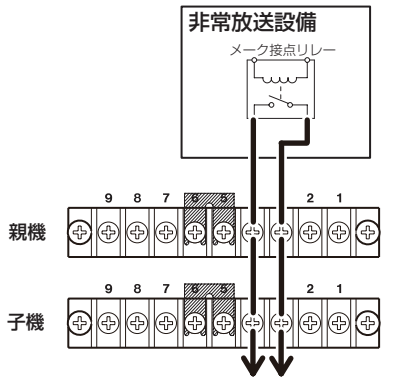
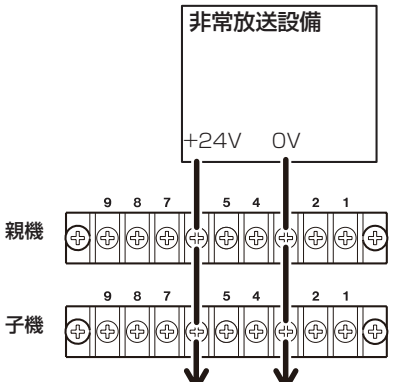
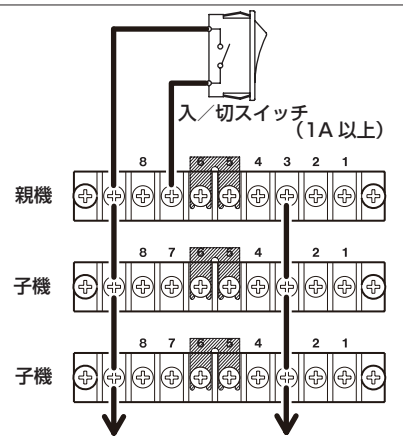
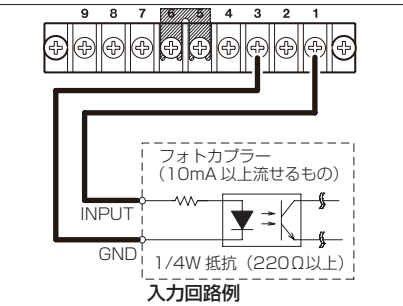
接続例については、11ページ以降を参照ください。

注意

取扱説明書の設定以外の接続および設定にした場合は、指定動作と違う動作する事がありますので、指定通りの設定でご使用ください。

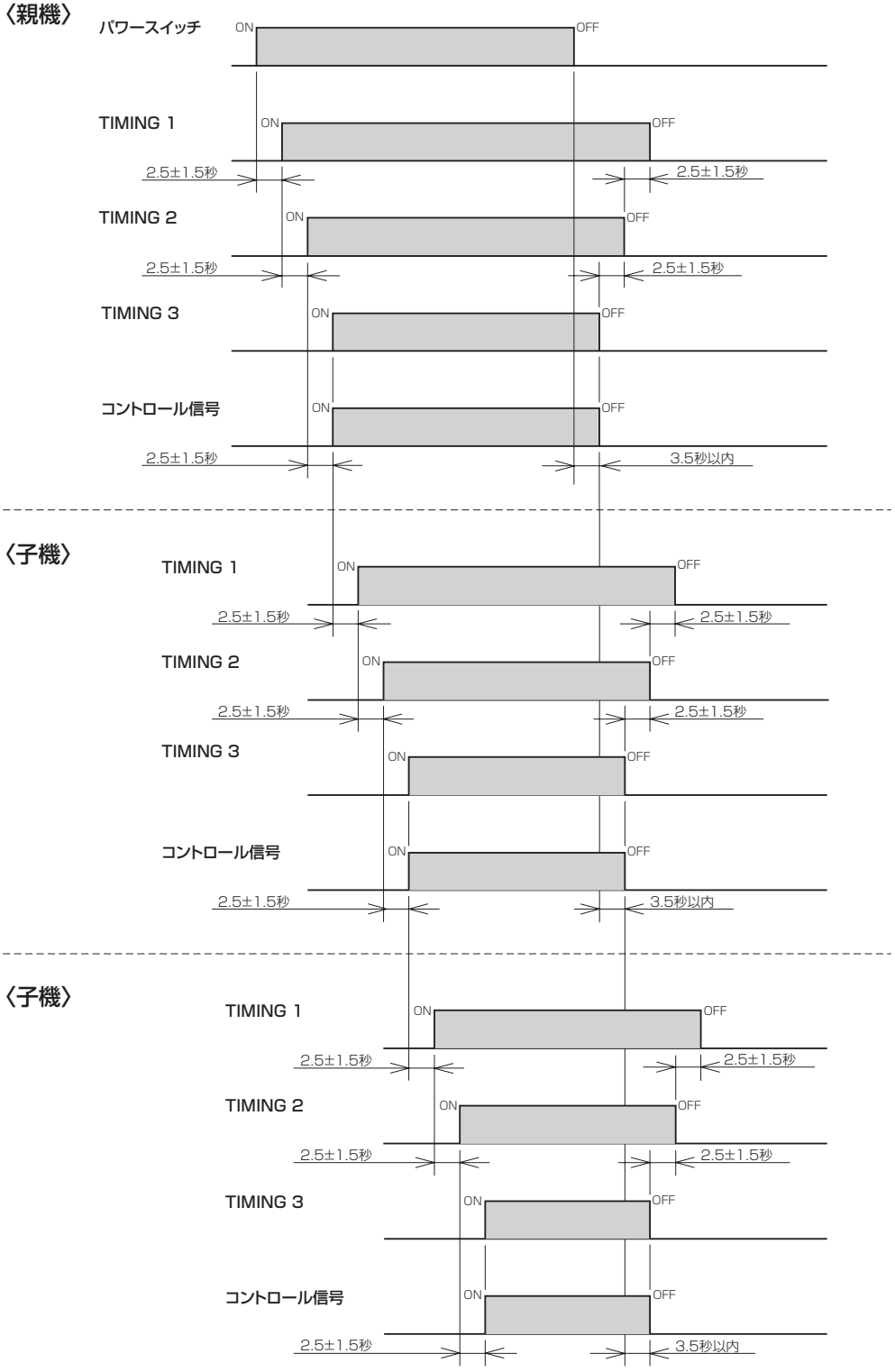
接続例

	動作	接続例	MASTERスイッチの設定		ショート金具
1	**親機・子機連動（親子間遅延あり）** 親機のPOWERスイッチをオン／オフすると、親機がタイミング動作した後に、子機がタイミング動作します。 子機のPOWERスイッチは、働きません。 動作タイミングについては、XXページを参照ください。		親機 子機 子機		5端子と6端子に取り付ける
2	**親機・子機連動（親子間遅延なし）** 親機のPOWERスイッチをオン／オフすると、子機も連動してオン／オフします。 子機のPOWERスイッチは、働きません。 動作1との違いは、親機のPOWERスイッチをオン／オフすると、同時に子機がオン／オフすることです。 各機は、タイミング動作します。 動作タイミングについては、XXページを参照ください。		親機 子機 子機		5端子と6端子に取り付ける
3	**親機ON時のみ子機は単独でオン／オフ可** 親機のPOWERスイッチがオンの時、子機は単独でオン／オフできます。 親機のPOWERスイッチがオフの時、子機の電源は入りません（子機のPOWERスイッチに関係なく）。 各機は、タイミング動作します。		親機 子機 子機		5端子と6端子に取り付ける
4	**どの機でも全機のオン／オフが可能** 全機のPOWERスイッチがオフの状態で、どれか1台のPOWERスイッチをオン／オフすると、他の機器もすべてオン／オフします。 各機は、タイミング動作します。		親機 子機 子機		5端子と6端子に取り付ける

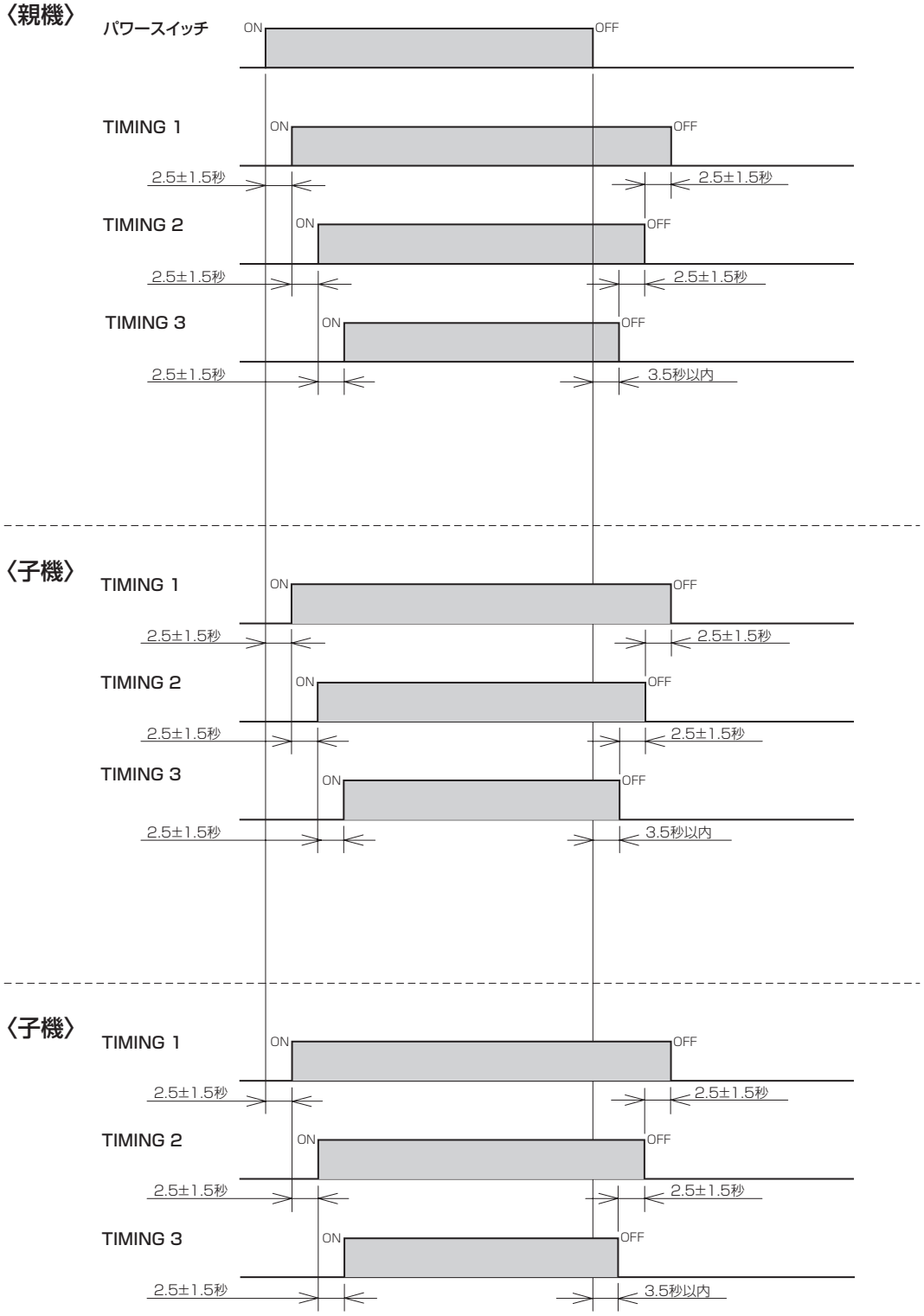
	動作	接続例	MASTERスイッチの設定		ショート金具
5	**非常放送時に連動コンセントを切る（1）** 非常放送の伝達を妨げないようにするために、非常放送設備からのコントロール信号が切れると、SWITCHED電源コンセントの電源がTIMING 3→2→1の順に切れます。 **注意** • 本機を非常放送設備の一部にはできません（非常放送設備からの信号で本機をコントロール　することは可能です）。 • 動作1、2、3と併用する場合は、非常放送設備は親機に接続してください。		親機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
6	**非常放送時に連動コンセントを切る（2）**		親機		取り外す
			子機		取り外す
7	**外部スイッチでオン／オフする** 入／切スイッチ（1A以上）で本機をオン／オフできます。 POWERスイッチは、無効になります。 本機を右図のように複数台並列に接続して、接続したすべての電源を一括してオン／オフすることもできます。 各機は、タイミング動作します。		親機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
			子機		5端子と6端子に取り付ける
8	**外部から動作を監視する** フォトカプラーを駆動できます（リレーは、駆動できません）。	 入力回路例	親機		5端子と6端子に取り付ける

タイミングチャート

動作1のタイミングチャート



動作2のタイミングチャート



一般

電源
AC100V、50-60Hz

最大定格電力
14.9A（1490W）

電源コンセント
SWITCHED　（リアパネル　　：2P x12）
UNSWITCHED（フロントパネル　：3P x3）

フィルター
サージノイズフィルター
ラインノイズフィルター

極性チェッカー
ネオンランプ表示

サーキットブレーカー
15A

電源ON遅延時間
POWER ON　→ TIMING 1 ON　：2.5±1.5秒
TIMING 1 ON　→ TIMING 2 ON　：2.5±1.5秒
TIMING 2 ON　→ TIMING 3 ON　：2.5±1.5秒

電源OFF遅延時間
POWER OFF　→ TIMING 3 OFF：3.5秒以内
TIMING 3 OFF → TIMING 2 OFF：2.5±1.5秒
TIMING 2 OFF → TIMING 1 OFF：2.5±1.5秒

CONTROL端子
定格入力電圧　：5 ～ 24V
定格入力電流　：16 ～ 25mA
出力電圧　　：10 ～ 12V

電源コード
3P電源コード

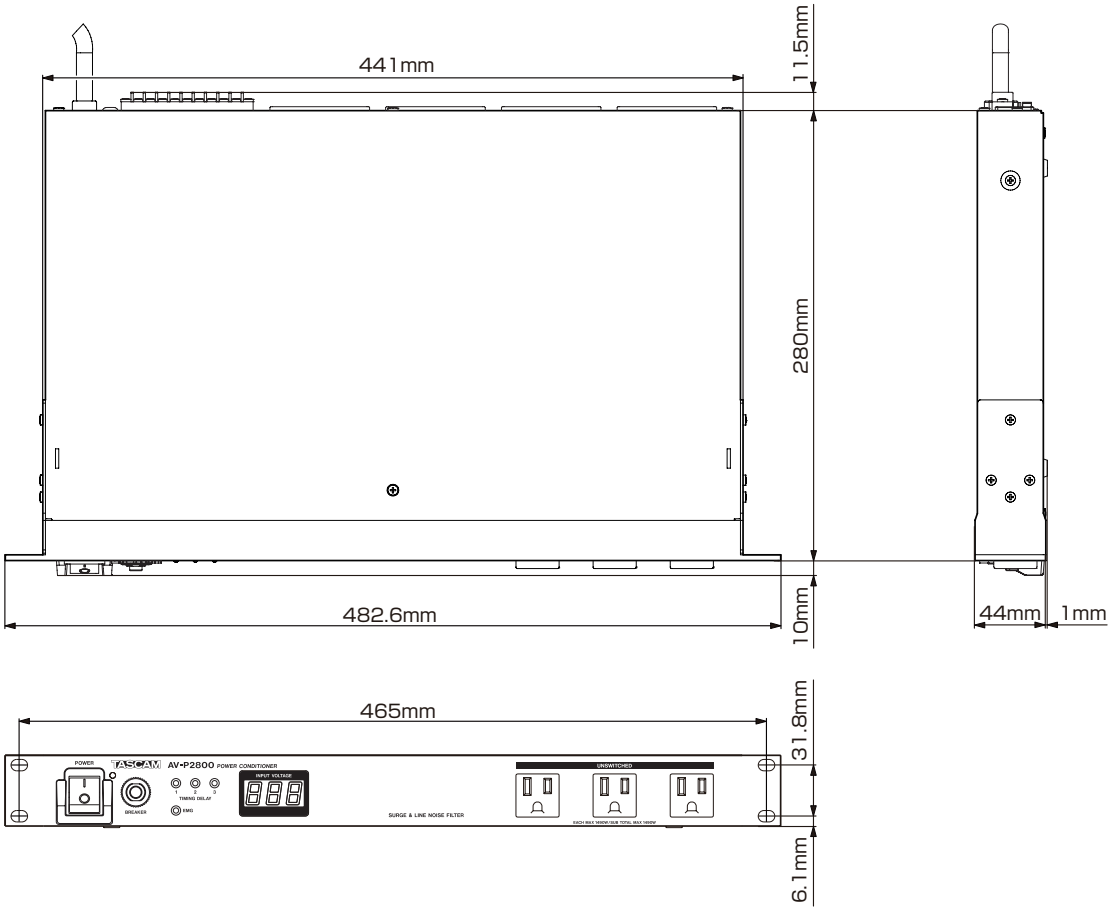
消費電力
4.3W

待機時消費電力
0.2W

外形寸法
482.6 x 45 x 301.5mm（幅×高さ×奥行き、突起を含む）

重量
3.9kg

寸法図



＊ 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
＊ 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00 ／ 13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47

0120-152-854

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026　埼玉県入間市小谷田 858

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

市内通話料でOK ナビダイヤル

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社
〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
http://tascam.jp/

Printed in China